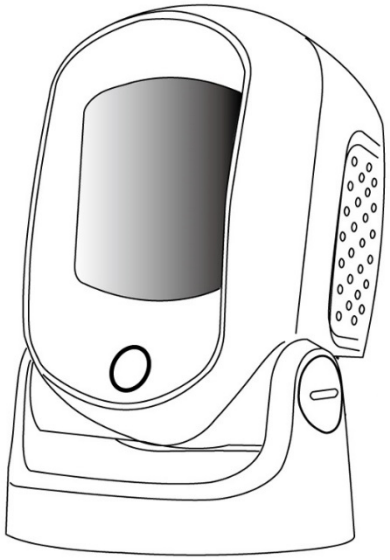
１次元定置式オムニレーザースキャナー

A-8050



詳細設定マニュアル

Ver 2.0

改定履歴

Ver	発行日	改定履歴
1.0	2018/01/18	初版発行 FW：Aquila A8FN0111FK2 ,Jan 16 2018
2.0	2018/12/19	・4.2 Caps Lock 設定 追加 ・付録 2：ASCII バーコード Shift(左・右)、Ctrl（左・右）、Alt（左・右） 追加 FW:Aquila A8FN0112FK2 ,Aug 10 2018

目次

・工場出荷時の設定値 6
1. 同梱品 7
・1.1　同梱品 7
・1.2　同梱 USB ケーブル 7
・1.3　本体上部ボタンの説明（2 パターンのレーザー照射方法） 8
2. システム設定 9
・2.1　ファームウェアーバージョン表示 9
・2.2　工場出荷時の状態に戻す 9
3. 基本設定 10
・3.1　USB インターフェイス設定 10
・3.2　読取りビープ音　音調設定 11
・3.3　読取りビープ音　音量設定 11
・3.4　スリープモード時間設定 12
・3.5　同一コード読取り遅延設定 13
・3.6　キャラクター間遅延設定 14
4. キーボード設定 15
・4.1　キーボード言語設定 15
・4.2　Caps Lock 設定 16
5. バーコード設定 17
・5.1　コードＩＤ付加設定 17
・5.2　コードＩＤを初期値に戻す 18
・5.3　コードＩＤ変更 19
・5.4　改行コード設定 24
・5.5　バーコードデータの末尾に「TAB」を付加する設定(ポストアンブル) 25
・5.6　バーコードデータの末尾に何も付加しない設定(ポストアンブル) 26
6. JAN/UPC/ISBN の設定 27
・6.1　JAN/UPC 読取り 27
・6.2　JAN/UPC チェックデジット 28
・6.3　UPC-A を JAN-13 に変換 32
・6.4　UPC-E を UPC-A に変換 33
・6.5　JAN-8 を UPC-A に変換 34
・6.6　UPC-A 先頭 1 桁の送信設定 35
・6.7　UPC-E 先頭 0 の送信設定 36
・6.8　ISBN 読取り 37
・6.9　ISBN チェックデジット 38

・6.10　書籍 JAN コード　[978][192]からはじまるバーコードデータの結合 39
・6.11　書籍 JAN コード　[978][192]結合データ間のスペース 40
・6.12　書籍 JAN コード　[978][192]結合データ間の文字設定 41
7.Code39 の設定 42
・7.1　Code39　読取り 42
・7.2　Code39 チェックデジット 計算 43
・7.3　Code39 チェックデジット 送信 44
・7.4　Code39 スタート(*)/ストップ(*)コード 45
8.Code32 の設定 46
・8.1　Code32　読取り 46
9.Codabar (NW-7) の設定 47
・9.1　Codabar (NW-7)　読取り 47
・9.2　Codabar (NW-7)　チェックデジット 計算 48
・9.3　Codabar (NW-7)　チェックデジット 送信 49
・9.4　Codabar (NW-7)　スタート/ストップコード 50
10.Interleaved 2 of 5 (ITF) の設定 51
・10.1　Interleaved 2 of 5 (ITF)　読取り 51
・10.2　Interleaved 2 of 5 (ITF)　チェックデジット 計算 52
・10.3　Interieaved 2 of 5 (ITF)　チェックデジット 送信 53
11.Code128/GS1-128 の設定 54
・11.1　Code128/GS1-128　読取り 54
・11.2　GS1-128 先頭に”]C1”を付加する設定 55
12.MSI PLESSEY の設定 56
・12.1　MSI PLESSEY　読取り 56
・12.2　MSI PLESSEY　チェックデジット 計算 57
・12.3　MSI PLESSEY　チェックデジット 送信 58
13.Code93 の設定 59
・13.1　Code93　読取り 59
14.GS1 Data Bar (RSS) -14 の設定 60
・14.1　GS1 Data Bar (RSS) -14　読取り 60
15.GS1 Data Bar (RSS) -Limited の設定 61
・15.1　GS1 Data Bar (RSS) -Limited　読取り 61
16.GS1 Data Bar (RSS) -Expanded の設定 62
・16.1　GS1 Data Bar (RSS) -Expanded　読取り 62
17.最小読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁） 63
18.固定読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁） 65

19. 先頭/末尾に文字を付加する（プリアンブル/ポストアンブル） 67
・19.1　先頭に文字を付加する（プリアンブル） 67
・19.2　末尾に文字を付加する（ポストアンブル） 68
・付録 1：桁数設定バーコード（最小読取り桁数/固定読取り桁数設定時に使用） 69
・付録 2：ASCII バーコード 75
・付録 3：Code39 Full ASCII バーコード 116
・付録 4：A-8050 USB-COM ドライバーインストール手順（64bit） 120
・付録 5：A-8050 USB-COM ドライバーインストール手順（32bit） 124

・工場出荷時の設定値

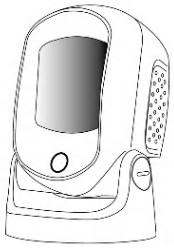
項目	バーコード種	初期値
バーコード 読取り	JAN / UPC	JAN / UPC：有効　アドオン：無効
	ISBN	OFF（[978]出力する
	Code39	標準
	Code32	Code39 として読取り
	Codabar (NW-7)	有効
	Interleaved 2 of 5 (ITF)	有効
	Code128 / GS1-128	有効
	MSI PLESSEY	無効
	Code93	無効
	GS1 Data Bar (RSS)-14	無効
	GS1 Data Bar (RSS)-Limited	無効
	GS1 Data Bar (RSS)-Expanded	無効
チェックデジット 計算	Code39	計算しない
	Codabar (NW-7)	計算しない
	Interleaved 2 of 5 (ITF)	計算しない
	MSI PLESSEY	計算しない
チェックデジット 送信	JAN13	送信する
	JAN8	送信する
	UPC-A	送信する
	UPC-E	送信する
	ISBN	送信する
	Code39	送信する
	Codabar (NW-7)	送信する
	Interleaved 2 of 5 (ITF)	送信する
	MSI PLESSEY	送信する
スタート/ストップコード 送信	Code39	送信しない
	Codabar (NW-7)	送信する（大文字）
最小読取り桁数	Code39	4
	Codabar (NW-7)	6
	Interleaved 2 of 5 (ITF)	4
	Code128	4
	MSI PLESSEY	4
	Code93	4

項目	初期値
MODE	ASIA　MODE　（固定）
USB インターフェイス設定	USB-HID
スリープモード時間	10 分後
同一コード読取り遅延設定	0.3 秒
キャラクター間遅延	0 秒
キーボード言語	日本
Caps Lock	無効
コード ID 付加設定	付加しない
改行コード	CR
UPC-A を JAN13 に変換	有効
UPC-E を UPC-A に変換	無効
JAN-8 を UPC-A に変換	無効
UPC-A　先頭 1 桁の送信設定	送信する
UPC-E　先頭 0 の送信設定	送信する
書籍 JAN コード　[978][192]からはじまるバーコードデータの結合	無効
書籍 JAN コード　[978][192]結合データ間のスペース	スペースあり
GS1-128　先頭に"]C1"付加する設定	"]C1"付加しない

1. 同梱品

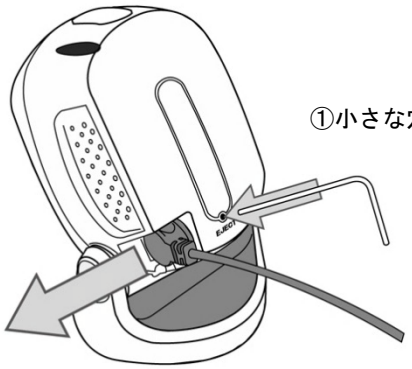
・1.1　同梱品

製品箱には以下のものが入っています。
不足や破損がございましたら弊社までご連絡ください。

		
スキャナー本体	USB ケーブル	品質保証書付きご案内書

・1.2　同梱 USB ケーブル

・USB ケーブルの取外し

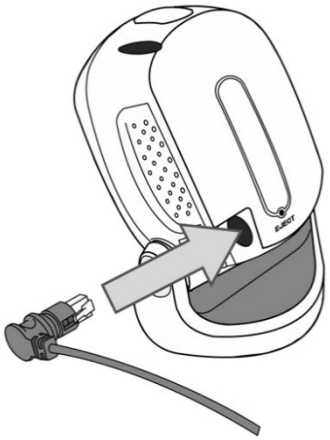


①小さな穴に、クリップ・ピン等を挿し込みます。

②クリップ・ピンを挿し込んだままケーブルを引っ張ります。

・USB ケーブルの取付け

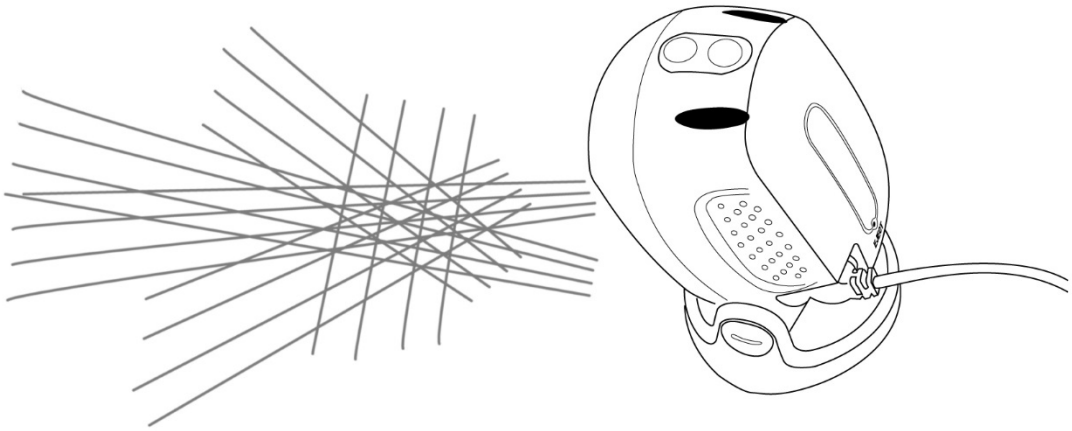
①本体のコネクターにケーブルを「カチッ」と音が鳴るまで挿し込みます。



・1.3　本体上部ボタンの説明（2パターンのレーザー照射方法）

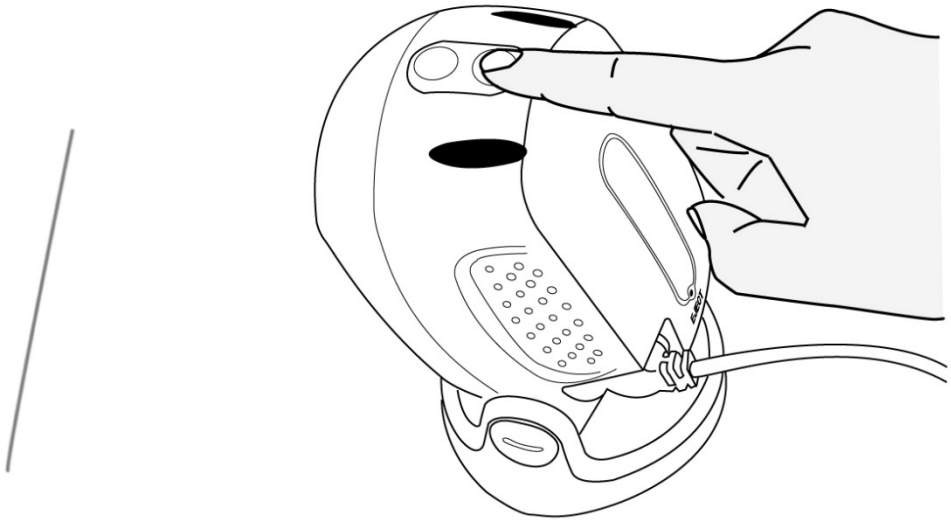
通常電源を入れると、5 方向 20 本のレーザー光が照射されます。

図 1：



本体上部のボタン（後側）を軽くタッチすると、1 本のレーザー光に切り替わります。
指を離すと、通常の 5 方向 20 本のレーザー光が照射されます。

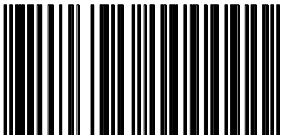
図 2：



※本マニュアルの「設定開始/設定終了(1.1)」のバーコードを通常のレーザー光(図 1)の状態でスキャンした場合、設定中はボタンをタッチしても図 2 の 1 本のレーザー光には切り替わりません。また、「設定開始/設定終了(1.1)」を図 2 の状態でスキャンした場合、設定中は図 1 に切り替わりません。

※本マニュアルで設定を行う場合等、バーコードが密集している時は、図 2 の方法でバーコードに光をピンポイントで照射と、間違ったバーコードの読取りを防ぐことができます。

設定開始/設定終了（1.1）

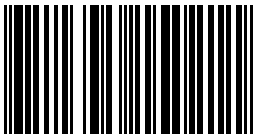


2. システム設定

・2.1　ファームウェアーバージョン表示

手順：メモ帳等のテキストエディターを開き
「設定開始/設定終了」→「バージョン情報」→「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

バージョン情報

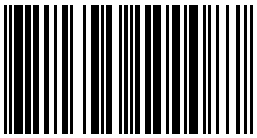


1.15

・2.2　工場出荷時の状態に戻す

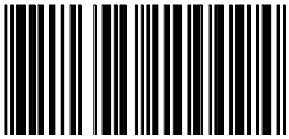
手順：「設定開始/設定終了」→「工場出荷時の状態」の順にスキャンします。

工場出荷時の状態



1.3

※設定終了後、スキャナーからビープ音が 3 回鳴ります。



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

3. 基本設定

・3.1　USB インターフェイス設定

USB-HID は、ホスト（例えば USB 互換のオペレーティングシステムと USB ポート）で動作するキーボードエミュレーターです。
USB 互換性を持つオペレーティングシステムは Windows 98、Windows NT 5.0 とそれ以後です。
USB-HID ドライバは OS に組み込まれているので、特別なソフトウェア(ドライバー)は必要ありません。
但し、USB-COM の設定ではドライバーのインストールが必要となります。

※ USB インターフェイス設定の変更後は、一度電源をリセットしてください。
（接続端末側の USB ケーブルを抜き、再度挿し込む）

USB-HID 設定の場合、【4.1 キーボード言語設定】を設定してください。
キーボード言語の初期値は、「日本語」です。

USB-HID 手順：
「設定開始/設定終了」→ USB-HID →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

USB-HID

3.5.1

USB-COM 手順：
「設定開始/設定終了」→「PID/VID 設定」→「設定開始/設定終了」→「設定開始/設定終了」→「USB-COM」→「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

PID/VID 設定

8 712345 350109

USB-COM

3.5.4

※USB-COM に設定する場合は、USB-COM ドライバーのインストールが必要です。
USB-COM ドライバーは、弊社ホームページからダウンロードをしてください。
本マニュアル　付録 4：【A-8050 USB-COM ドライバーのインストール手順（64bit)】、
付録 5：【A-8050USB-COM ドライバーのインストール手順（32bit)】をご確認ください。
PC の機種によっては、正常に動作しないことがございます。

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・3.2　読取りビープ音　音調設定

※「音調設定」のバーコードをスキャンする毎に音調が変化します。(6 種類)

手順 :「設定開始/設定終了」→「音調設定」(必要回数）→「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

音調設定

2.1.1

・3.3　読取りビープ音　音量設定

※「音量設定」のバーコードをスキャンする毎に音量が変化します。
（工場出荷時の状態から 6 回読取りで消音）

手順 :「設定開始/設定終了」→「音量設定」(必要回数）→「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

音量設定

2.1.2

※工場出荷時の状態から「2.1.2」のバーコードの読取りが 6 回目の時、設定中の読取りビープ音は鳴りません。

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・3.4　スリープモード時間設定

手順：「設定開始/設定終了」→ 設定時間のいずれかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

無効

2.2.1

※「無効」に設定すると内蔵モーターに負荷がかかり、製品寿命が短くなる原因になります。

10 分後

2.2.2

30 分後

2.2.3

60 分後

2.2.4

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・3.5　同一コード読取り遅延設定

※同一コードを読取った際に、少し時間をあけて読取りを行う設定です。
　同一コードの 2 度読みが発生する場合は、設定時間を長めにしてお試しください。

手順：「設定開始/設定終了」→ 設定時間のいずれかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

0.3 秒

2.3.4

0.6 秒

2.3.7

0.8 秒

1 秒

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・3.6　キャラクター間遅延設定

手順：「設定開始/設定終了」→ 設定時間のいずれかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

0 秒

3.4.35

0.002 秒

3.4.37

0.005 秒

3.4.38

0.01 秒

3.4.39

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

4. キーボード設定

・4.1　キーボード言語設定

手順：「設定開始/設定終了」→ 日本/アメリカ のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

日本

3.4.15

アメリカ

3.4.11

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・4.2　Caps Lock 設定

手順：「設定開始/設定終了」→有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

※FW Ver: Aquila A8FN0112FK2 ,Aug 10 2018 からの機能です。

無効

8 712345 400507

有効

8 712345 400514

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

5. バーコード設定

・5.1　コードＩＤ付加設定

手順：「設定開始/設定終了」→ 付加する/付加しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

付加する　：バーコードデータの先頭にコード ID を付加してデータを出力します。
付加しない：バーコードデータのみ出力します。

付加する

5.3.1

付加しない

5.3.2

バーコード種	コード ID 初期値	バーコード種	コード ID 初期値
JAN-13	F	Codabar(NW-7)	%
JAN-8	FF	Interleaved(ITF)	i
UPC-A	A	MSI Plessey	O
UPC-E	E	Code 93	L
Code128	#	ISBN	F
GS1-128	P	GS1 DataBar	U
Code39	*	GS1 DataBar Limited	V
Code32	*	GS1 DataBar Expanded	W

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・5.2　コードＩＤを初期値に戻す

※【5.3 コード ID 変更】で設定したコード ID を全て初期値に戻します。

手順：「設定開始/設定終了」→ 「コード ID を初期値に戻す」 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

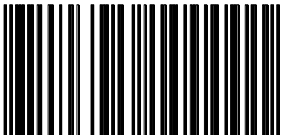
コード ID を初期値に戻す

5.3.3

バーコード種	コード ID 初期値	バーコード種	コード ID 初期値
JAN-13	F	Codabar(NW-7)	%
JAN-8	FF	Interleaved(ITF)	i
UPC-A	A	MSI Plessey	O
UPC-E	E	Code 93	L
Code128	#	ISBN	F
GS1-128	P	GS1 DataBar	U
Code39	*	GS1 DataBar Limited	V
Code32	*	GS1 DataBar Expanded	W

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

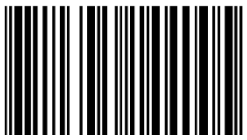


・5.3　コードＩＤ変更

※設定可能な文字数：3 文字まで

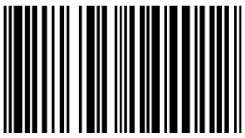
手順：「設定開始/設定終了」→ 設定するバーコード種のコード ID 変更を選択 → 付録 2：【ASCII バーコード】から設定する文字のバーコード →「コード ID 設定保存」→「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

JAN-13：コード ID 変更



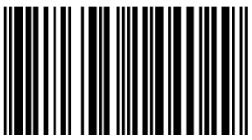
5.3.10

JAN-8：コード ID 変更



5.3.11

UPC-A：コード ID 変更

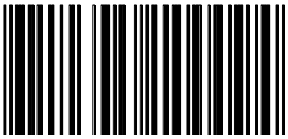


5.3.12

****

コード ID 設定保存

5.3.20



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

UPC-E:コード ID 変更

5.3.13

Code39:コード ID 変更

5.3.16

Code32:コード ID 変更

5.3.17

****

コード ID 設定保存

5.3.20

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

Codabar(NW-7)：コード ID 変更

5.3.18

Interleaved 2 of 5 (ITF)：コード ID 変更

5.3.19

Code128：コード ID 変更

5.3.15

****

コード ID 設定保存

5.3.20

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

GS1-128:コード ID 変更

5.3.14

MSI PLESSEY:コード ID 変更

5.3.27

Code93:コード ID 変更

5.3.28

****

コード ID：設定保存

5.3.20

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

GS1 Data Bar:コード ID 変更

5.3.29

GS1 Data Bar Limited:コード ID 変更

5.3.31

GS1 Data Bar Expanded:コード ID 変更

5.3.30

****

コード ID：設定保存

5.3.20

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・5.4　改行コード設定

手順：「設定開始/設定終了」→ CR/LF/CR+LF のいずれかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

ＣＲ

5.2.1

ＬＦ

5.2.2

ＣＲ+ＬＦ

5.2.3

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・5.5　バーコードデータの末尾に「TAB」を付加する設定(ポストアンブル)

※USB-HID のみの設定です。

手順：「設定開始/設定終了」→ ① → ② → ③ →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

①ポストアンブル設定開始

5.2.5

②「TAB」

11.1.13

③ポストアンブル設定保存

5.2.6

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・5.6　バーコードデータの末尾に何も付加しない設定(ポストアンブル)

※USB-COM の場合
　先に【3.1 USB インターフェイス設定】で「USB-COM」に設定をしてから行ってください。

手順：「設定開始/設定終了」→ ① → ② →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

①ポストアンブル設定開始

5.2.5

②ポストアンブル設定保存

5.2.6

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

6.JAN/UPC/ISBN の設定

・6.1　JAN/UPC 読取り

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のいずれかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

JAN/UPC：有効　アドオン：無効

4.1.1

JAN/UPC：無効　アドオン：無効

4.1.2

JAN/UPC：有効　アドオン：有効

4.1.3

※アドオンコードに光が照射されていな場合、アドオンコードデータが出力されないことがあります。

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・6.2　JAN/UPC チェックデジット

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

JAN-13 チェックデジット：送信する

5.4.26

JAN-13 チェックデジット：送信しない

5.4.27

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

JAN-8 チェックデジット：送信する

5.4.24

JAN-8 チェックデジット：送信しない

5.4.25

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

UPC-A チェックデジット：送信する

5.4.28

UPC-A チェックデジット：送信しない

5.4.29

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

UPC-E チェックデジット：送信する

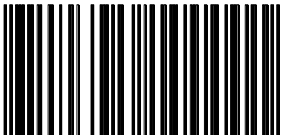
5.4.9

UPC-E チェックデジット：送信しない

5.4.10

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

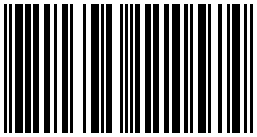


・6.3　UPC-A を JAN-13 に変換

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

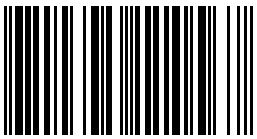
有効：UPC-A のデータ(12 桁)の先頭に「0」を付加し、JAN-13 のデータ(13 桁)を出力します。
無効：UPC-A のデータ(12 桁)をそのまま出力します。

有効

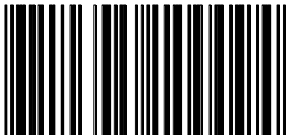


5.4.4

無効

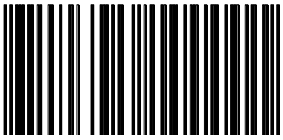


5.4.3



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

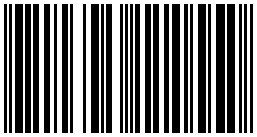


・6.4　UPC-E を UPC-A に変換

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

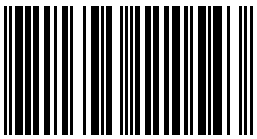
有効：UPC-E のデータ(8 桁)を UPC-A のデータ(12 桁)に変換し出力します。
無効：UPC-E のデータ(8 桁)をそのまま出力します。

有効

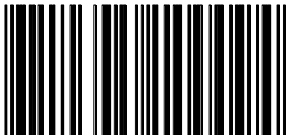


5.4.5

無効



5.4.6



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・6.5　JAN-8 を UPC-A に変換

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

有効：JAN-8 のデータ(8 桁)を UPC-A のデータ(12 桁)に変換し出力します。
【6.3 UPC-A を JAN-13 に変換】の初期値が「有効」である為、13 桁で出力します。
12 桁で出力する場合は、【6.3 UPC-A を JAN-13 に変換】を「無効」に設定してください。
無効：JAN-8 のデータ(8 桁)をそのまま出力します。

有効

5.4.30

無効

5.4.31

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・6.6　UPC-A 先頭１桁の送信設定

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

送信する

5.4.33

送信しない

5.4.32

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・6.7　UPC-E 先頭０の送信設定

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

送信する

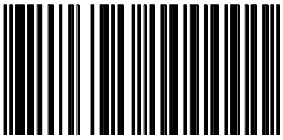
5.4.7

送信しない

5.4.8

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）



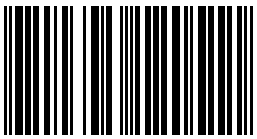
・6.8　ISBN 読取り

手順：「設定開始/設定終了」→ OFF/ON のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

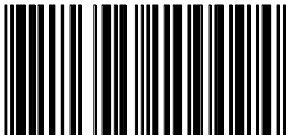
OFF（[978] 出力する）

4.1.44

ON（[978]出力しない）



4.1.43



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・6.9　ISBN チェックデジット

※【6.8 ISBN 読取り】の設定で「ON（[978]出力しない)」に設定した時に有効な設定です。

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

ISBN チェックデジット：送信する

5.4.55

ISBN チェックデジット：送信しない

5.4.54

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・6.10　書籍 JAN コード　[978][192]からはじまるバーコードデータの結合

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

有効：[978]からはじまるバーコードと、[192]からはじまるバーコードを同時に光を照射するとデータを結合して出力します。
例）9784591081457△1920097009528　　（△＝スペース）
・スペースを取り除くには【6.11 書籍 JAN コード　[978][192]結合データ間のスペース】で「スペースなし」に設定してください。
・スペースではなく「,」等の文字に変更する場合は、【6.12　書籍 JAN コード　[978][192]結合データ間の文字設定】で変更が可能です。

無効：[978]からはじまるバーコードと、[192]からはじまるバーコードを別々に光を照射し、それぞれデータを出力します。（通常の読取りと同じ）

有効

4.4.2

無効

4.4.1

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・6.11　書籍 JAN コード　[978][192]結合データ間のスペース

手順：「設定開始/設定終了」→ スペースあり/なし のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

スペースあり

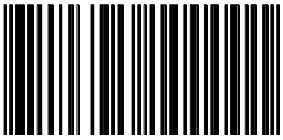
4.4.5

スペースなし

4.4.6

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

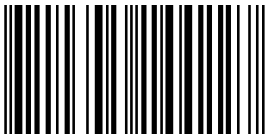


・6.12　書籍 JAN コード　[978][192]結合データ間の文字設定

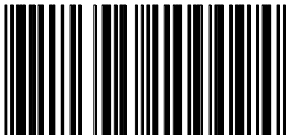
※設定可能な文字数：1 文字

手順：「設定開始/設定終了」→ 「結合データ間の文字設定開始」→ 付加する文字を付録 2：【ASCII バーコード】から選択(1 文字）→「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

結合データ間の文字設定開始



4.4.7



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

7.Code39 の設定

・7.1　Code39　読取り

手順：「設定開始/設定終了」→ 標準/Code39 Full ASCII/無効 のいずれかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

※最小読取り桁数が、初期値：4 桁に設定されています。
4 桁より少ない桁数の Code39 を読取る場合は、【17.最小読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁）】で最小読取り桁数を設定する必要があります。

標準

4.1.25

Code39 Full ASCII

4.1.26

無効

4.1.28

※「無効」に設定すると、Code32 の読取りもできなくなります。

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・7.2　Code39 チェックデジット 計算

※「計算する」に設定すると、チェックデジットが付加されていない Code39 の読取りができなくなります。

手順：「設定開始/設定終了」→ 計算する/計算しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

計算する

5.4.37

計算しない

5.4.36

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・7.3　Code39 チェックデジット 送信

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

送信する

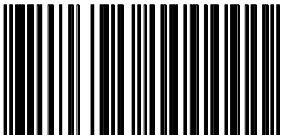
5.4.35

送信しない

5.4.34

設定中止（1.2）

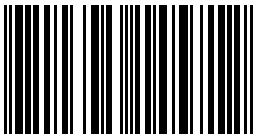
設定開始/設定終了（1.1）



・7.4　Code39 スタート(*)/ストップ(*)コード

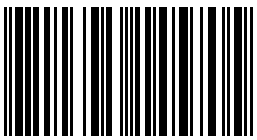
手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

送信する

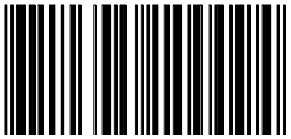


5.8.23

送信しない



5.8.22



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

8. Code32 の設定

・8.1　Code32　読取り

※工場出荷時の状態では、Code39 として読取りをします。
「有効」に設定すると、Code32 として読取りをします。

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

有効

4.1.27

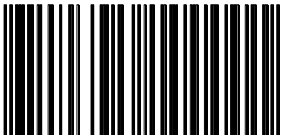
無効

4.1.28

※「無効」に設定すると、Code39 の読取りもできなくなります。

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）



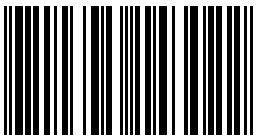
9.Codabar（NW-7）の設定

・9.1　Codabar（NW-7）　読取り

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

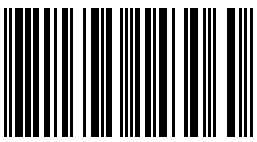
※最小読取り桁数が、初期値：6桁に設定されています。
6桁より少ない桁数のNW-7を読取る場合は、【17.最小読取り桁数の設定（設定範囲：1～16桁）】で最小読取り桁数を設定する必要があります。

有効

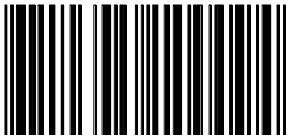


4.1.30

無効



4.1.31



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・9.2　Codabar（NW-7）　チェックデジット 計算

※「計算する」に設定すると、チェックデジットが付加されていない Codabar（NW-7）の読取りができなくなります。

手順：「設定開始/設定終了」→ 計算する/計算しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

計算する(モジュラス 16)

5.4.41

計算しない

5.4.40

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・9.3　Codabar（NW-7）　チェックデジット 送信

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

送信する

5.4.39

送信しない

5.4.38

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・9.4　Codabar（NW-7）　スタート/ストップコード

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する(大文字)/送信する(小文字)/送信しない のいずれかを選択 →
「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

送信する（大文字）

5.8.25

送信する（小文字）

5.8.26

送信しない

5.8.24

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

10.Interleaved 2 of 5（ITF）の設定

・10.1　Interleaved 2 of 5（ITF）　読取り

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

※最小読取り桁数が、初期値：4 桁に設定されています。
4 桁より少ない桁数の ITF を読取る場合は、【17.最小読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁)】で最小読取り桁数を設定する必要があります。

有効

4.1.35

無効

4.1.36

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・10.2　Interleaved 2 of 5（ITF）　チェックデジット 計算

※「計算する」に設定すると、チェックデジットが付加されていない Interleaved 2 of 5（ITF）の読取りができなくなります。

手順：「設定開始/設定終了」→ 計算する/計算しない のどちらかを選択 →　「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

計算する

5.4.45

計算しない

5.4.44

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・10.3　Interieaved 2 of 5（ITF）　チェックデジット 送信

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

送信する

5.4.43

送信しない

5.4.42

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

11.Code128/GS1-128 の設定

・11.1　Code128/GS1-128　読取り

※チェックデジットが付加されていないバーコードの読取りはできません。

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

※最小読取り桁数が、初期値：4 桁に設定されています。
4 桁より少ない桁数の Code128 を読取る場合は、【17.最小読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁）】で最小読取り桁数を設定する必要があります。

有効

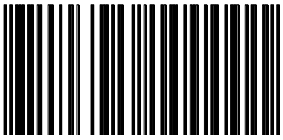
4.1.20

無効

4.1.21

設定中止（1.2）

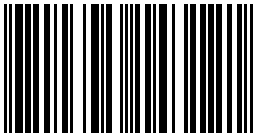
設定開始/設定終了（1.1）



・11.2　GS1-128 先頭に”]C1”を付加する設定

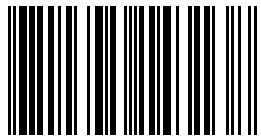
手順：「設定開始/設定終了」→ 付加する/付加しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

”]C1”付加する

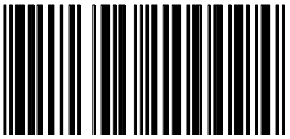


5.4.15

”]C1”付加しない



5.4.16



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

12.MSI PLESSEY の設定

・12.1　MSI PLESSEY　読取り

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

※最小読取り桁数が、初期値：4 桁に設定されています。
4 桁より少ない桁数の MSI を読取る場合は、【17.最小読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁)】で最小読取り桁数を設定する必要があります。

有効

4.1.39

無効

4.1.40

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・12.2　MSI PLESSEY　チェックデジット 計算

※「計算する」に設定すると、チェックデジットが付加されていない MSI PLESSEY の読取りができなくなります。

手順：「設定開始/設定終了」→ 計算する/計算しない のどちらかを選択 → 「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

計算する

5.4.47

計算しない

5.4.46

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・12.3　MSI PLESSEY　チェックデジット 送信

手順：「設定開始/設定終了」→ 送信する/送信しない のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

送信する

5.4.52

送信しない

5.4.51

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

13.Code93 の設定

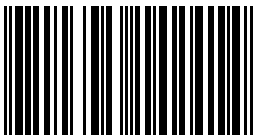
・13.1　Code93　読取り

※チェックデジットが付加されていないバーコードの読取りはできません。

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

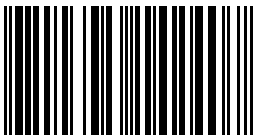
※最小読取り桁数が、初期値：4 桁に設定されています。
4 桁より少ない桁数の Code93 を読取る場合は、【17.最小読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁）】で最小読取り桁数を設定する必要があります。

有効

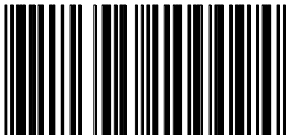


4.1.41

無効



4.1.42



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

14.GS1 Data Bar（RSS）-14 の設定

・14.1　GS1 Data Bar（RSS）-14　読取り

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

有効

4.1.47

無効

4.1.48

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

15.GS1 Data Bar（RSS）-Limitedの設定

・15.1　GS1 Data Bar（RSS）-Limited　読取り

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

有効

4.1.51

無効

4.1.52

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

16.GS1 Data Bar（RSS）-Expanded の設定

・16.1　GS1 Data Bar（RSS）-Expanded　読取り

手順：「設定開始/設定終了」→ 有効/無効 のどちらかを選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

有効

4.1.49

無効

4.1.50

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

17.最小読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁）

手順：「設定開始/設定終了」→ 設定するバーコード種の最小読取り桁数設定を選択 →
付録１：【桁数設定バーコード】から選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

Code39 最小読取り桁数設定(初期値：4)

4.2.2

Codabar(NW-7)：最小読取り桁数設定(初期値：6)

4.2.3

Interleaved 2 of 5(ITF)：最小読取り桁数設定(初期値：4)

4.2.4

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了 (1.1)

Code128:最小読取り桁数設定(初期値 : 4)

4.2.1

MSI PLESSEY:最小読取り桁数設定(初期値 : 4)

4.2.32

Code93:最小読取り桁数設定(初期値 : 4)

4.2.33

設定中止 (1.2)

設定開始/設定終了（1.1）

18.固定読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁）

手順：「設定開始/設定終了」→設定するバーコード種の固定読取り桁数設定を選択 →
付録１：【桁数設定バーコード】から選択 →「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

Code39：固定読取り桁数設定

4.2.6

Codabar（NW-7）：固定読取り桁数設定

4.2.7

Interleaved 2 of 5（ITF）：固定読取り桁数設定

4.2.8

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

Code128 固定読取り桁数設定

4.2.5

MSI PLESSEY:固定読取り桁数設定

4.2.34

Code93:固定読取り桁数設定

4.2.36

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

19.先頭/末尾に文字を付加する（プリアンブル/ポストアンブル）

・19.1　先頭に文字を付加する（プリアンブル）

※７文字まで設定可能です。

手順：「設定開始/設定終了」→「プリアンブル設定開始」→ 付加する文字を付録 2：【ASCII バーコード】から選択 →「プリアンブル設定保存」→「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

例）バーコードデータの先頭に「ABC」を付加する。

「設定開始/設定終了」→「5.1.1」→「10.1.66」→「10.1.67」→「10.1.68」→「5.1.2」→「設定開始/設定終了」

プリアンブル設定開始

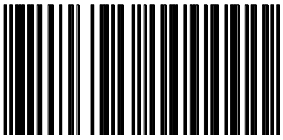
5.1.1

プリアンブル設定保存

5.1.2

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）



・19.2　末尾に文字を付加する（ポストアンブル）

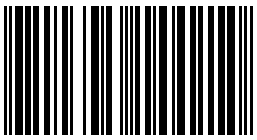
※７文字まで設定可能です。

手順：「設定開始/設定終了」→「ポストアンブル設定開始」→付加する文字を付録２：【ASCII バーコード】から選択 →「ポストアンブル設定保存」→「設定開始/設定終了」の順にスキャンします。

例）バーコードデータの末尾に「ABC」を付加する。

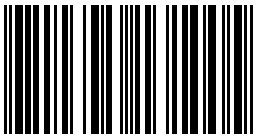
「設定開始/設定終了」→「5.2.5」→「10.1.66」→「10.1.67」→「10.1.68」→「5.2.6」→「設定開始/設定終了」

ポストアンブル設定開始

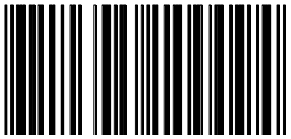


5.2.5

ポストアンブル設定保存



5.2.6



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・付録 1：桁数設定バーコード（最小読取り桁数/固定読取り桁数設定時に使用）

1 桁

4.2.13

2 桁

4.2.14

3 桁

4.2.15

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

4 桁

4.2.16

5 桁

4.2.17

6 桁

4.2.18

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

7 桁

4.2.19

8 桁

4.2.20

9 桁

4.2.21

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

10 桁

4.2.22

11 桁

4.2.23

12 桁

4.2.24

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

13 桁

4.2.25

14 桁

4.2.26

15 桁

4.2.27

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

16 桁

4.2.28

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

・付録 2：ASCII バーコード

SOH

10.1.1

STX

10.1.2

ETX

10.1.3

EOT

10.1.4

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

ENQ

10.1.5

ACK

10.1.6

BEL

10.1.7

BS

10.1.8

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

HT

10.1.9

LF

10.1.10

VT

10.1.11

FF

10.1.12

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

CR

10.1.13

SO

10.1.14

SI

10.1.15

DLE

10.1.16

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

DC1

10.1.17

DC2

10.1.18

DC3

10.1.19

DC4

10.1.20

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

NAK

10.1.21

SYN

10.1.22

ETB

10.1.23

CAN

10.1.24

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

EM

10.1.25

SUB

10.1.26

ESC

10.1.27

FS

10.1.28

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

GS

10.1.29

RS

10.1.30

US

10.1.31

SP

10.1.32

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

!

10.1.34

"

10.1.35

#

10.1.36

$

10.1.37

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

%

10.1.38

&

10.1.39

‘

10.1.40

(

10.1.41

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

)

10.1.42

*

10.1.43

+

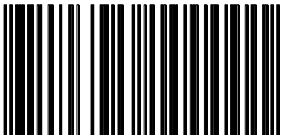
10.1.44

,

10.1.45

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

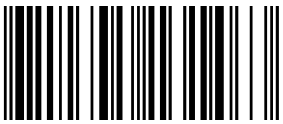


FKsystem

-

10.1.46

.



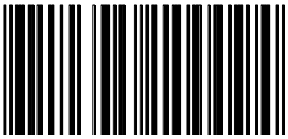
10.1.47

/

10.1.48

0

10.1.49



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

1

10.1.50

2

10.1.51

3

10.1.52

4

10.1.53

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

5

10.1.54

6

10.1.55

7

10.1.56

8

10.1.57

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

9

10.1.58

:

10.1.59

;

10.1.60

<

10.1.61

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

=

10.1.62

>

10.1.63

?

10.1.64

@

10.1.65

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

A

10.1.66

B

10.1.67

C

10.1.68

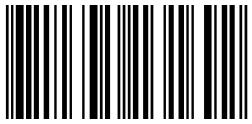
D

10.1.69

設定中止（1.2）

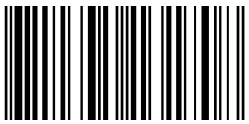
設定開始/設定終了（1.1）

E



10.1.70

F



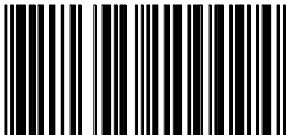
10.1.71

G

10.1.72

H

10.1.73



設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

I

10.1.74

J

10.1.75

K

10.1.76

L

10.1.77

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

M

10.1.78

N

10.1.79

O

10.1.80

P

10.1.81

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

Q

10.1.82

R

10.1.83

S

10.1.84

T

10.1.85

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

U

10.1.86

V

10.1.87

W

10.1.88

X

10.1.89

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

Y

10.1.90

Z

10.1.91

[

10.1.92

¥

10.1.93

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

]

10.1.94

^

10.1.95

_

10.1.96

`

10.1.97

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

a

10.1.98

b

10.1.99

c

10.1.100

d

10.1.101

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

e

10.1.102

f

10.1.103

g

10.1.104

h

10.1.105

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

i

10.1.106

j

10.1.107

k

10.1.108

l

10.1.109

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

m

10.1.110

n

10.1.111

o

10.1.112

p

10.1.113

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

q

10.1.114

r

10.1.115

s

10.1.116

t

10.1.117

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

u

10.1.118

v

10.1.119

w

10.1.120

x

10.1.121

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

y

10.1.122

z

10.1.123

{

10.1.124

|

10.1.125

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

}

10.1.126

~

10.1.127

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

※USB-HID のみ

F1

11.1.1

F2

11.1.2

F3

11.1.3

F4

11.1.4

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

※USB-HID のみ

F5

11.1.5

F6

11.1.6

F7

11.1.7

F8

11.1.8

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

※USB-HID のみ

F9

11.1.9

F10

11.1.10

F11

11.1.11

F12

11.1.12

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

※USB-HID のみ

TAB

11.1.13

ENTER（アルファベット）

11.1.14

ENTER（数字）

11.1.15

BS

11.1.16

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

※USB-HID のみ

Del

11.1.17

ESC

11.1.18

←

11.1.19

→

11.1.20

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

※USB-HID のみ

↑

11.1.21

↓

11.1.22

Page Up

11.1.23

Page Down

11.1.24

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

※USB-HID のみ

Home

11.1.25

END

11.1.26

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

※USB-HID のみ

※FW Ver: Aquila A8FN0112FK2 ,Aug 10 2018 からの機能です。

Shift(左)

8 712345 400941

Shift(右)

8 712345 400958

Ctrl(左)

8 712345 400965

Ctrl(右)

8 712345 400972

設定中止（1.2）

設定開始/設定終了（1.1）

※USB-HID のみ

※FW Ver: Aquila A8FN0112FK2 ,Aug 10 2018 からの機能です。

Alt(左)

8 712345 400989

Alt(右)

8 712345 400996

設定中止（1.2）

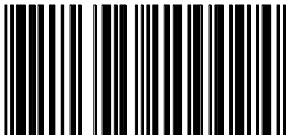
・付録 3：Code39 Full ASCII バーコード

※【7.1 Code39 読取り】で「Code39 Full ASCII」に設定してください。
下記表のバーコードをスキャンする際は【17.最小読取り桁数の設定（設定範囲：1～16 桁)】で Code39 の最小読取り桁数を「1 桁」に設定してください。

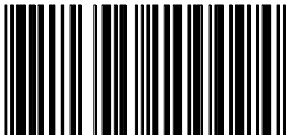
NUL %U	SOH $A	STX $B	ETX $C
EOT $D	ENQ $E	ACK $F	BEL $G
BS $H	HT $I	LF $J	VT $K
FF $L	CR $M	SO $N	SI $O
DLE $P	DC1 $Q	DC2 $R	DC3 $S
DC4 $T	NAK $U	SYN $V	ETB $W
CAN $X	EM $Y	SUB $Z	ESC %A
FS %B	GS %C	RS %D	US %E

設定中止（1.2）

Space Space	! /A	” /B	# /C
$ /D	% /E	& /F	' /G
(/I1	) /I	* /J	+ /K
, /L	- -	. .	/ /O
0 0	1 1	2 2	3 3
4 4	5 5	6 6	7 7
8 8	9 9	: /Z	; %F
< %G	= %H	> %I	? %J
@ %V	A A	B B	C C

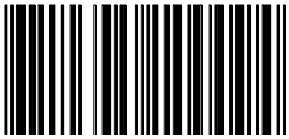

設定中止（1.2）

D D	E E	F F	G G
H H	I I	J J	K K
L L	M M	N N	O O
P P	Q Q	R R	S S
T T	U U	V V	W W
X X	Y Y	Z Z	[%K
¥(\) %L	] %M	^ %N	_ %O
` %W	a +A	b +B	c +C
d +D	e +E	f +F	g +G



設定中止（1.2）

h +H	i +I	j +J	k +K
l +L	m +M	n +N	o +O
p +P	q +Q	r +R	s +S
t +T	u +U	v +V	w +W
x +X	y +Y	z +Z	{ %P
| %Q	} %R	~ %S	DEL(7Fh) %T



設定中止（1.2）

・付録 4：A-8050 USB-COM ドライバーインストール手順（64bit）

事前準備：弊社ホームページから USB-COM ドライバーをダウンロードし、ZIP ファイルを解凍してください。

1. インターフェイス設定

USB-COM でご使用いただくには、本体インターフェイス設定を「USB-COM」へ変更します。
①→②→③→④→⑤→⑥の順にバーコードをスキャンしてください。

①設定開始

②PID/VID 設定

8 712345 350109

③設定終了

※インターフェイス：USB-HID の時、③のバーコードをスキャンすると 3 回のビープ音が鳴ります。
ピープ音が鳴り終わった後に、④のバーコードをスキャンしてください。

④設定開始

⑤ USB-COM

⑥設定終了

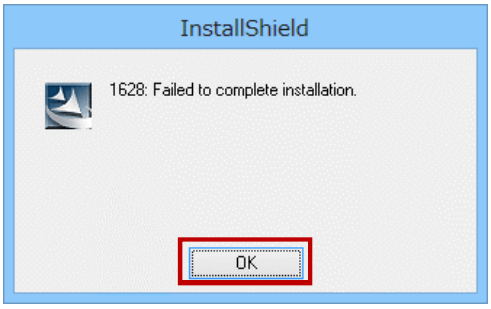
※⑥のバーコードをスキャンした後、接続端末側の USB ケーブルを抜き差ししてください。

2. USB-COM ドライバーのインストール

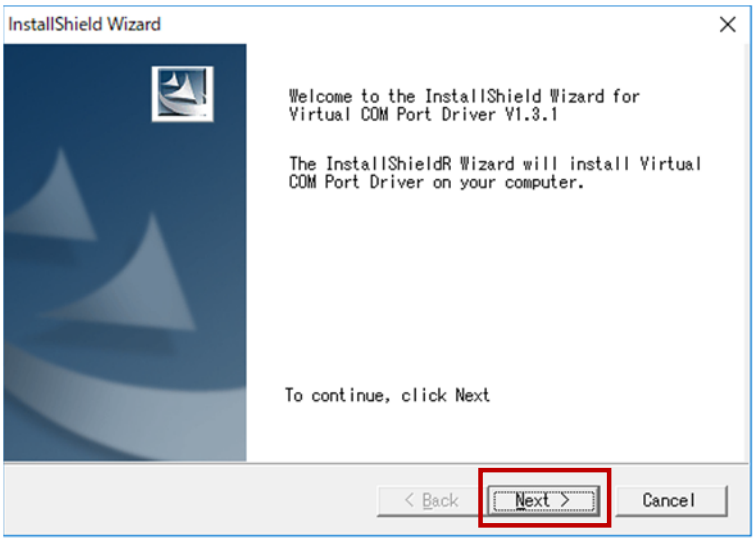
※Windows10（64bit）の画面で説明をしています。

①事前準備でダウンロード、解凍したフォルダ内の「VCP_V1.3.1_Setup_x64.exe」を起動します。

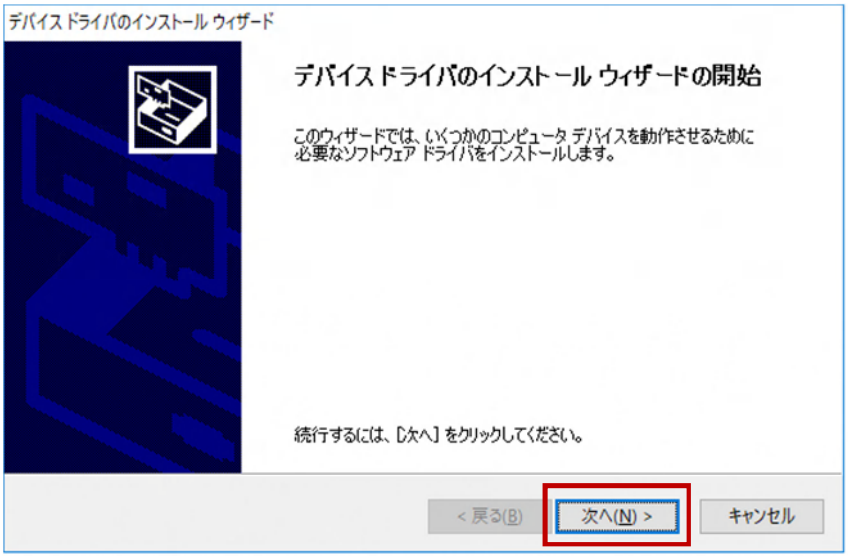
※警告メッセージや下記画面が表示されたら[OK]や[はい]を選択してください。



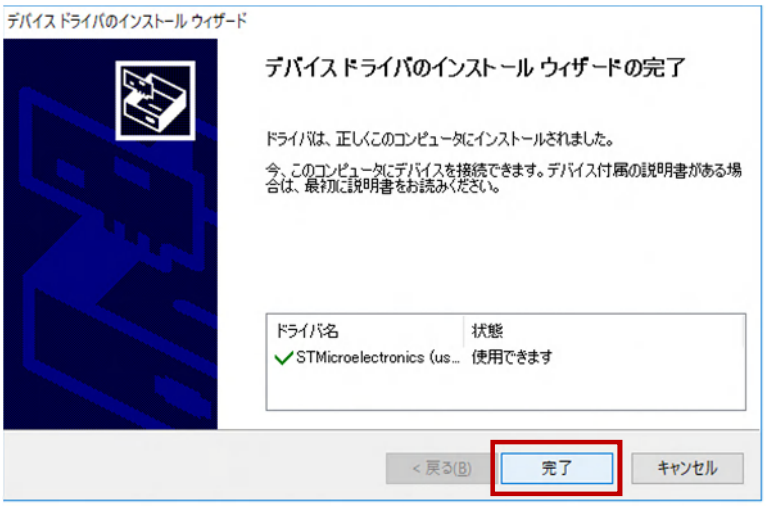
②[Next>]をクリックします。



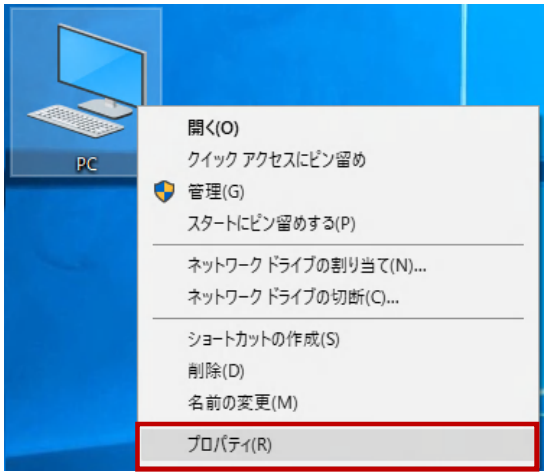
③[次へ(N)>]をクリックします。



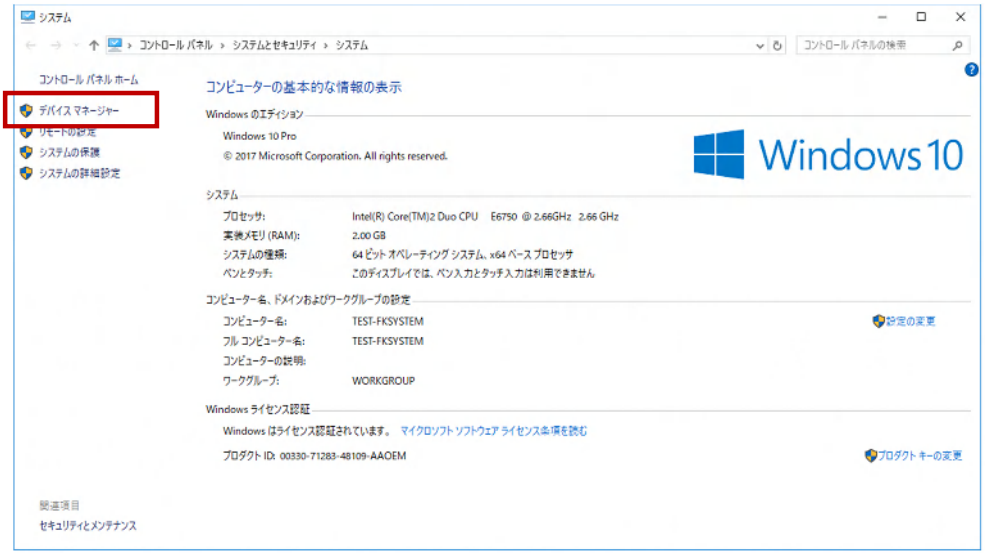
④[完了]をクリックします。USB-COM ドライバーのインストールは完了です。



⑤COM ポート番号を確認します。
コンピューター（PC）のアイコンを右クリックし、「プロパティ(R)」をクリックします。

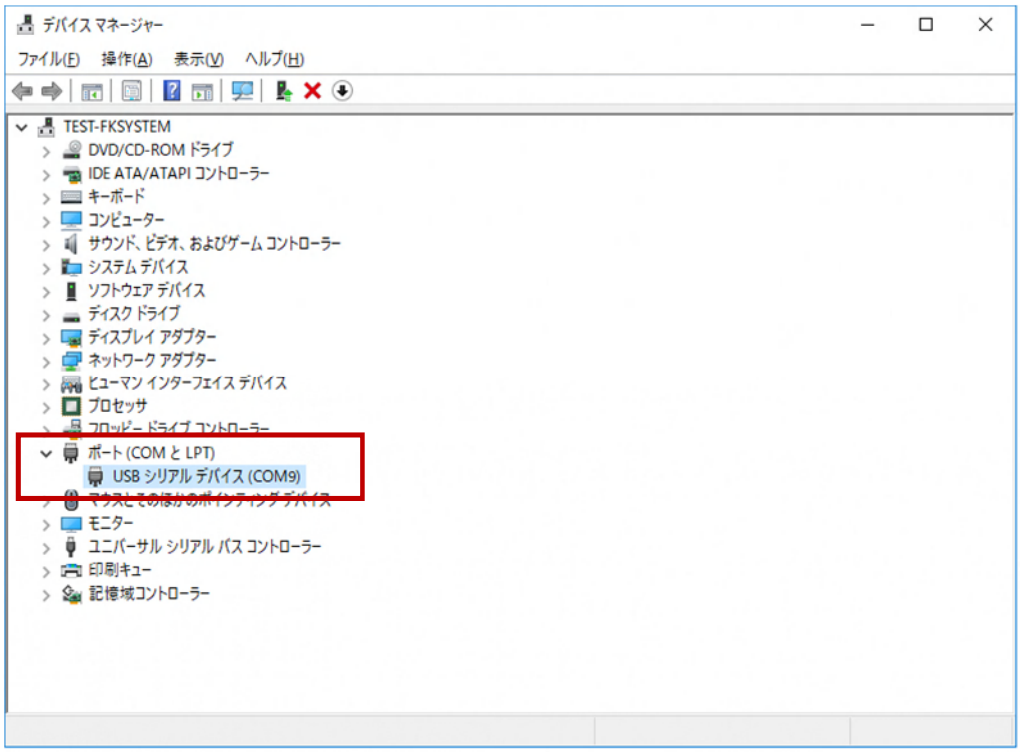


⑥左側の「デバイスマネージャー」をクリックします。



⑦デバイスマネージャーのポート(COM と LPT)配下に **USB シリアルデバイス(COM X)、または STMicroelectronics Vatual COM Port(COM X)** と表示されます。
シリアル通信アプリ等で表示された COM ポート番号（COM X）を指定して下さい。

※表示名は OS によって異なります。
A-8050 の USB ケーブルをパソコンの USB ポートから一度抜き、再度挿し込んだ時に表示されたデバイスの COM ポート番号をご確認ください。



・付録 5：A-8050 USB-COM ドライバーインストール手順（32bit）

事前準備：弊社ホームページから USB-COM ドライバーをダウンロードし、ZIP ファイルを解凍してください。

Windows8/8.1/10 の場合は、ドライバー署名の強制を無効に設定してからインストールを行って下さい。

1. インターフェイス設定

USB-COM でご使用いただくには、本体インターフェイス設定を「USB-COM」へ変更します。
①→②→③→④→⑤→⑥の順にバーコードをスキャンしてください。

①設定開始

②PID/VID 設定

8 712345 350109

③設定終了

※インターフェイス：USB-HID の時、③のバーコードをスキャンすると 3 回のビープ音が鳴ります。
ピープ音が鳴り終わった後に、④のバーコードをスキャンしてください。

④設定開始

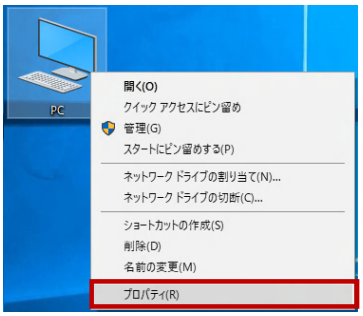
⑤ USB-COM

⑥設定終了

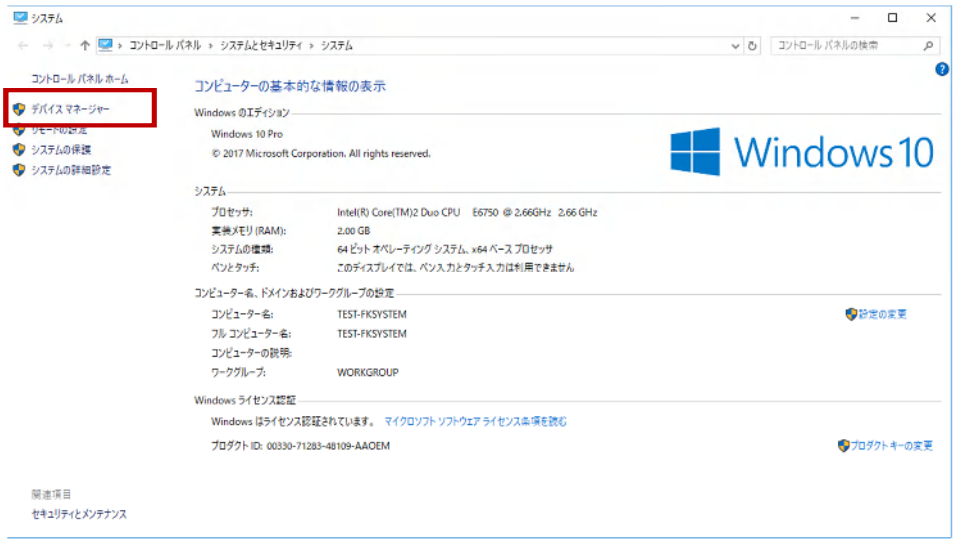
※⑥のバーコードをスキャンした後、接続端末側の USB ケーブルを抜き差ししてください。

2. USB-COM ドライバーのインストール

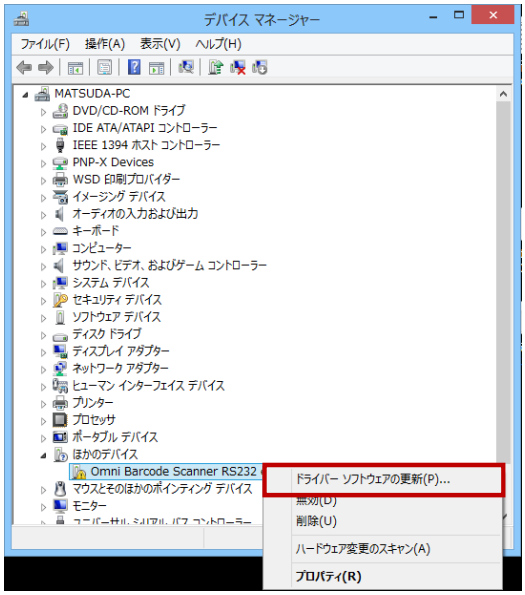
①デバイスマネージャーを表示します。
コンピューター（PC）のアイコンを右クリックし、「プロパティ(R)」をクリックします。



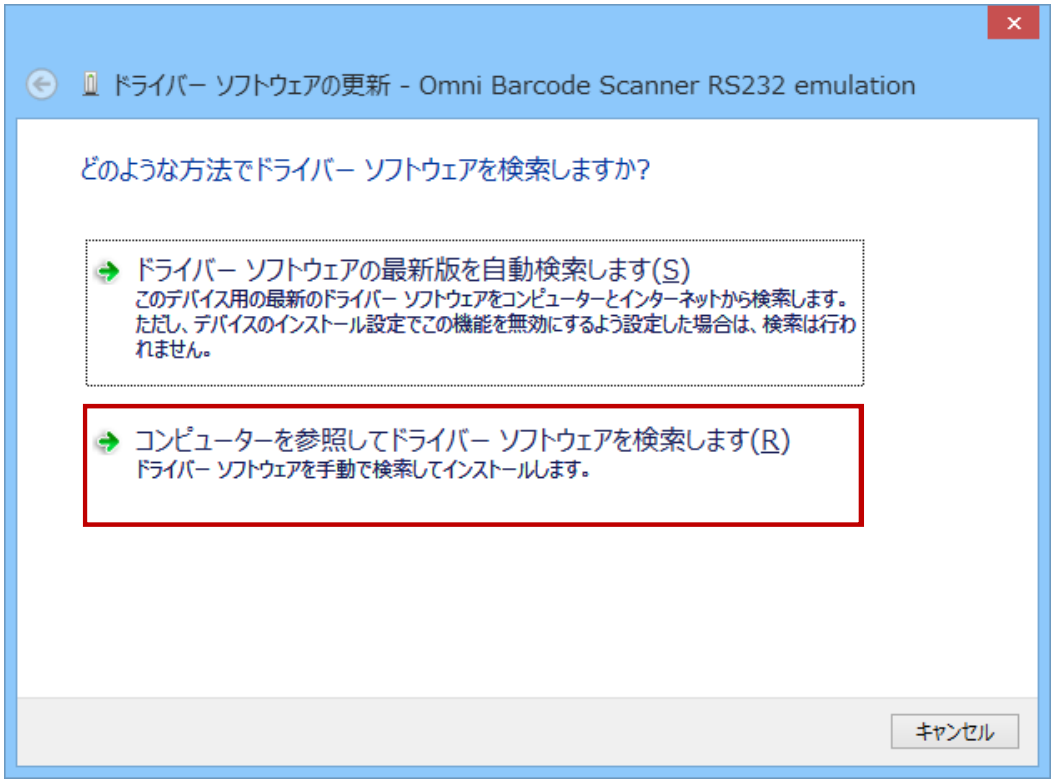
左側の「デバイスマネージャー」をクリックします。



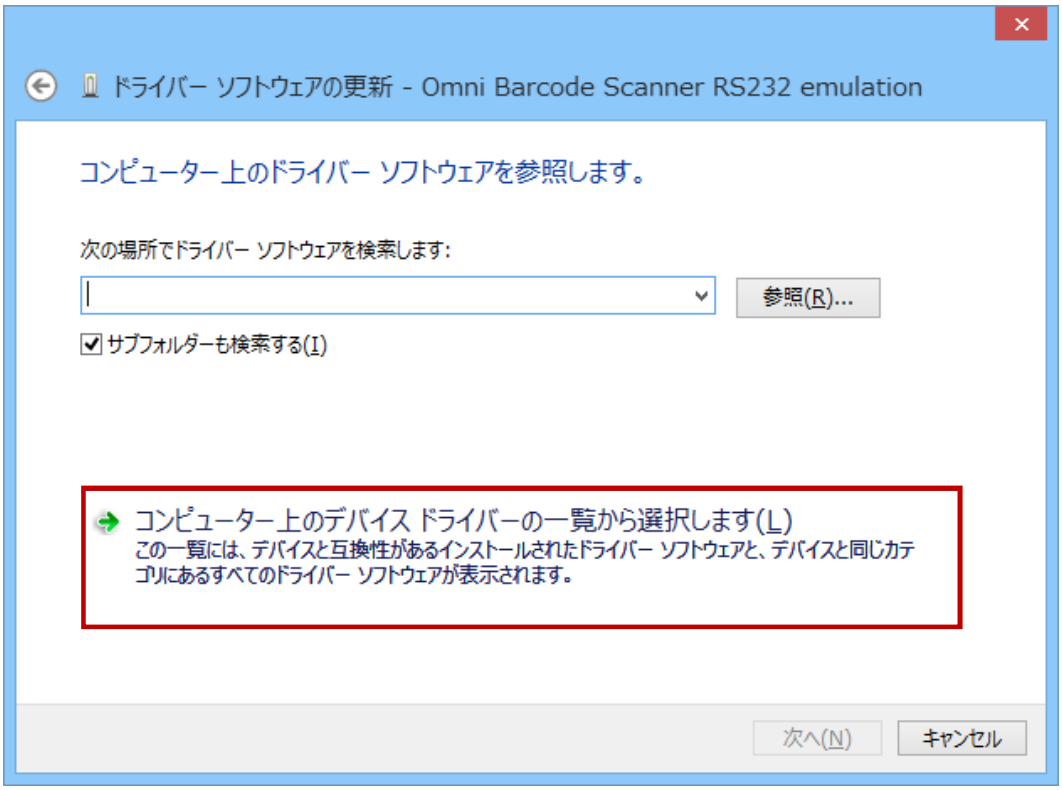
②「！」が表示されている「Omni Barcode Scanner RS232 emulation」を選択し、右クリック → 「ドライバーソフトウェアの更新(P)」をクリックします。



③「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)」をクリックします。

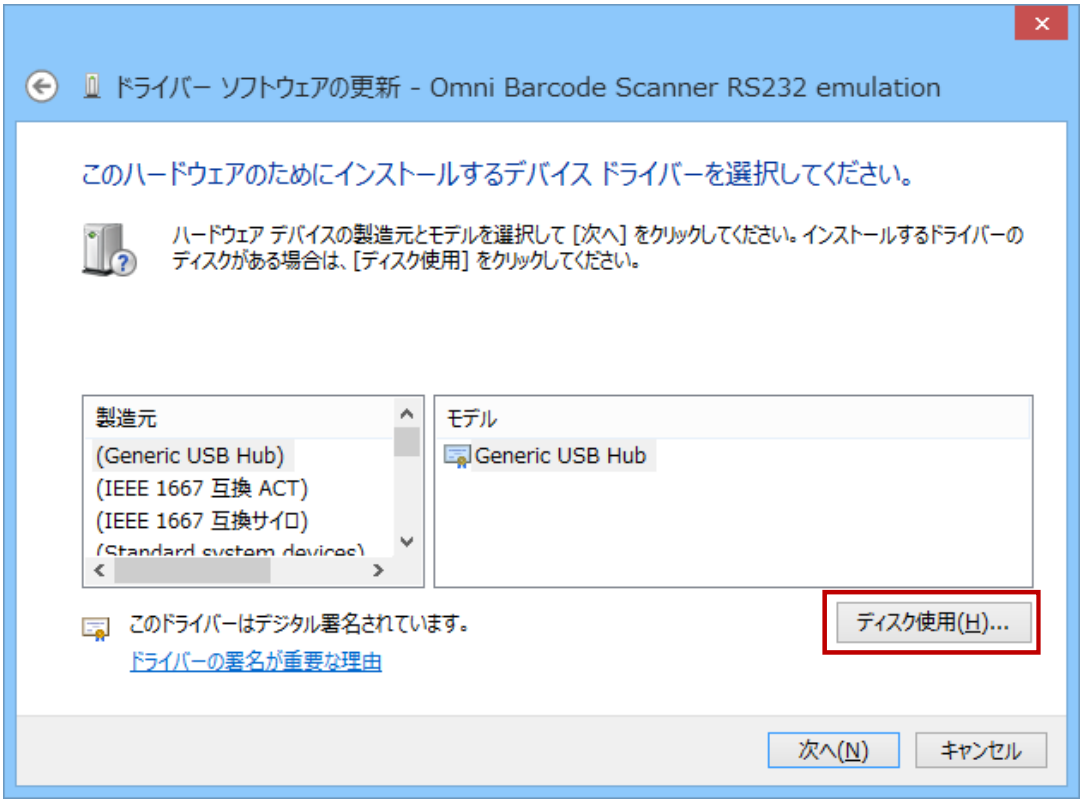


④「コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択します(L)」をクリックします。



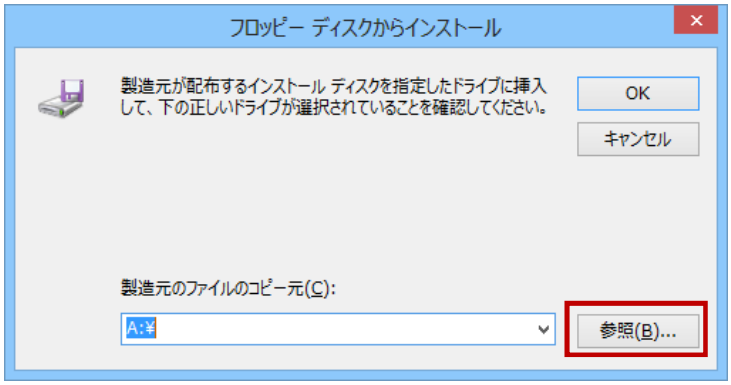
⑤「すべてのデバイスを表示」を選択している状態で[次へ(N)]をクリックします。

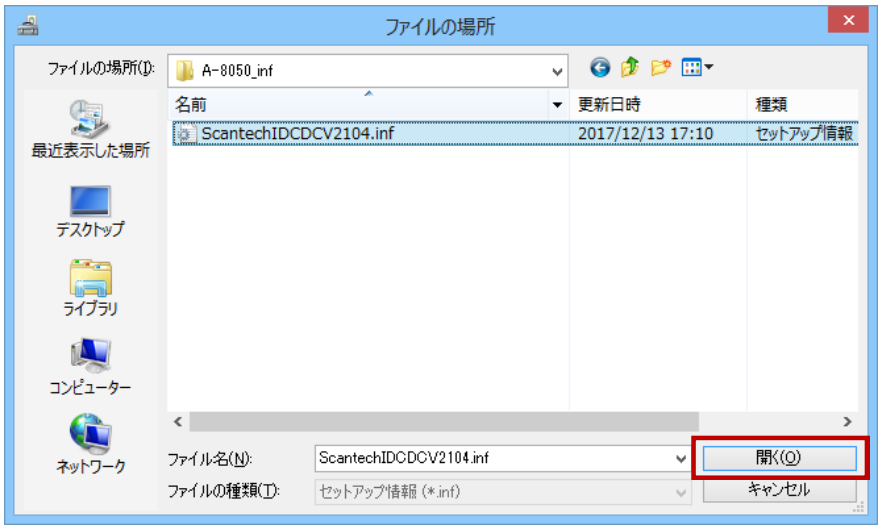
⑥[ディスク使用(H)]をクリックします。



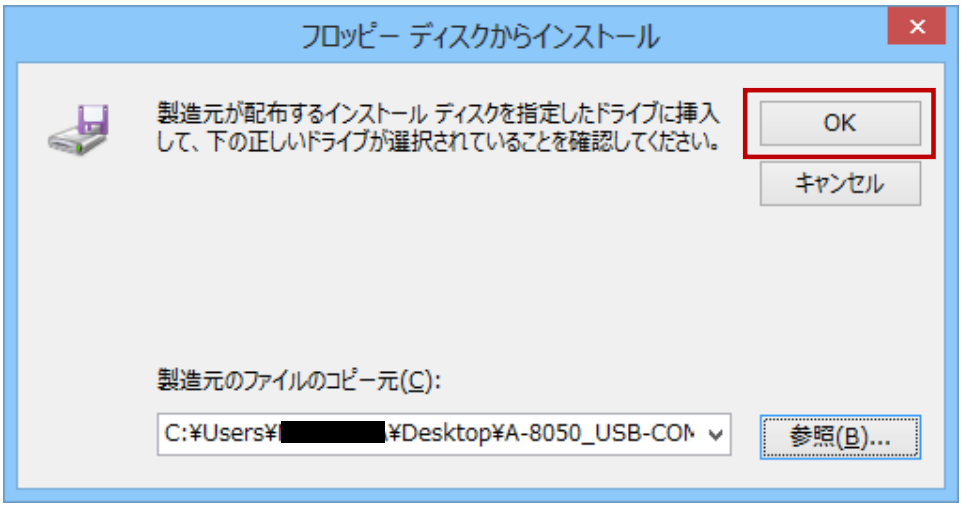
⑦「製造元のファイルのコピー元(C)」を聞かれるので［参照(B)］をクリックし、事前準備でダウンロード、解凍したフォルダ内の【32bit】フォルダーを開きます。
そのなかの **ScantechIDCDCV2104.inf** が表示されますので選択し、［開く(O)］をクリックします。

※ ScantechIDCDCV2104.inf が表示されない場合は指定先が間違っています。
ダウンロードした【32bit】フォルダを間違いなく指定しているかご確認ください。

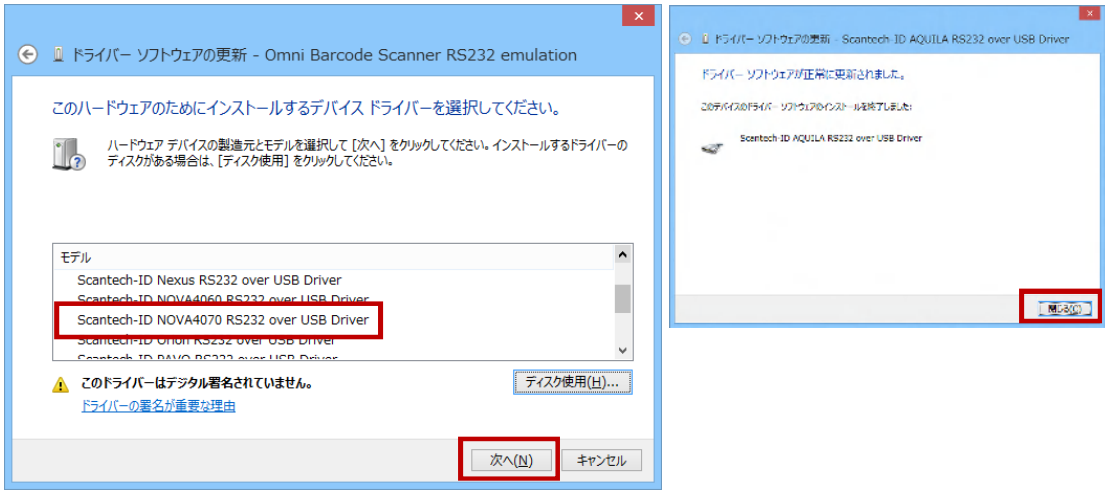
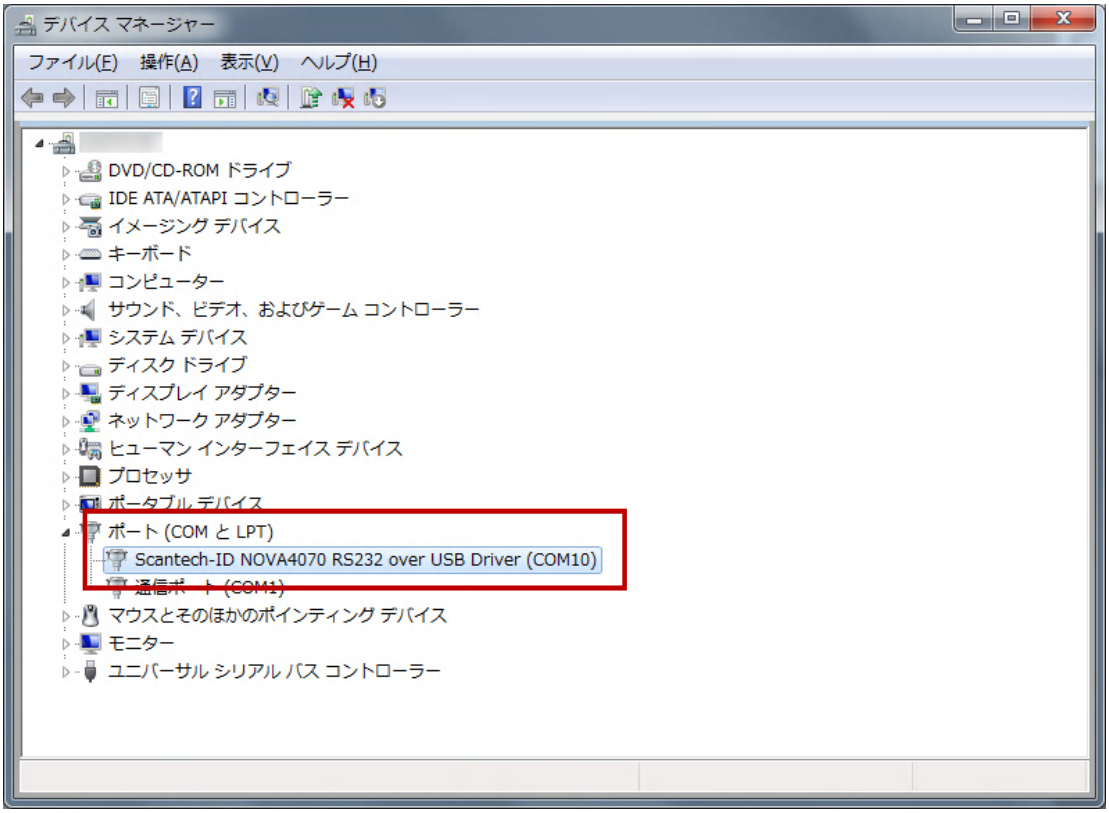




⑧「製造元のファイルのコピー元(C)」の画面に戻りますので、[OK]をクリックします。



⑨次の画面でモデル：「Scantech-ID NOVA4070 RS232 over USB Driver」が表示されますので選択し
[次へ(N)]をクリックします。
※ドライバーの更新警告等が表示される場合は、[OK]または[はい]で進んでください。
「ドライバーソフトウェアが正常に更新されました。」の画面が表示されます。
[閉じる(C)]をクリックし、画面を閉じます。



⑩デバイスマネージャーのポート(COM と LPT)配下に
「Scantech-ID NOVA4070 RS232 over USB Driver (COM X)」と表示されます。
シリアル通信アプリ等で表示された COM ポート番号（COM X）を指定してください。